

SHIBUKAWA ART RELA 2024 in IKAHO

アーティストインレジデンス企画書

2024年4月

- 渋川アートルラについて
- 渋川アートルラ2024 in 伊香保 企画概要
- アーティストインレジデンス企画について
- 今後のスケジュール

- 渋川アトリラについて
- 渋川アトリラ2024 in 伊香保 企画概要
- アーティストインレジデンス企画について
- 今後のスケジュール

渋川アートルラの理念

SHIBUKAWA ART RELAの「RELA（リラ）」はRELATION（関係性）やRELAY（つなげる）といった単語の頭文字を取った造語。

後ろに続く文字によって多様な変化を受け入れるという想いを込めて、「アートで人と人がつながり、多様な価値観を認め合っていく」ことができれば、と考えています。

この渋川を舞台としたアートイベントを通して、関係者のみならず参加者の皆様ともつながることで、多世代が関わり、人と人のつながりが生まれ、地域活性化の一助となればと考えています。



イベントの概要

伊香保地区の旅館・商店などに展示されたアート作品や参加型のアートコンテンツを体験することが可能。参加パスポートには旅館/商店で割引を受けられる特典やスタンプラリー特典も付いており、お得に街歩きを楽しむことができます。

アートで彩られた伊香保散策

まち歩き



アート鑑賞



アート体験



自分なりの楽しみ方を見つける

市民作品展示



ボランティア参加



これまでの沿革

2020年から活動を開始し、今回で4回目となるアートイベント。

年（西暦）月	活動内容
2020年12月	同年11月に渋川市提案型市民協働事業として採択され、渋川アトリラのプレ事業としてアート体験型ワークショップを実施。
2021年3月	渋川アトリラ2020 in 伊香保実施（第1回）。主催：渋川子ども若者未来創造プロジェクト
2021年5月	(一社)渋川伊香保温泉観光協会が観光庁による令和2年度第3次補正予算事業「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」の一環として、渋川アトリラ2022 in 伊香保の事業検討開始
2022年12月	渋川アトリラの取り組みの一環としてアーティストインレジデンス（以下、AIR）を伊香保温泉旅館にて受け入れ開始。
2022年2月	AIRで制作された作品展示を中心とした渋川アトリラ2022 in伊香保（第2回）を実施。主催：渋川伊香保温泉観光協会
2023年2月	渋川アトリラ2023 in伊香保（第3回）を実施。主催：渋川伊香保温泉観光協会。AIR作品に加え、第2回AIRで制作された作品をそのまま伊香保の地に遺して展示を続けてきたものをアーカイブ展示として新作AIR作品と合わせて展示。

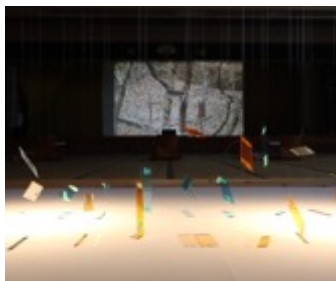
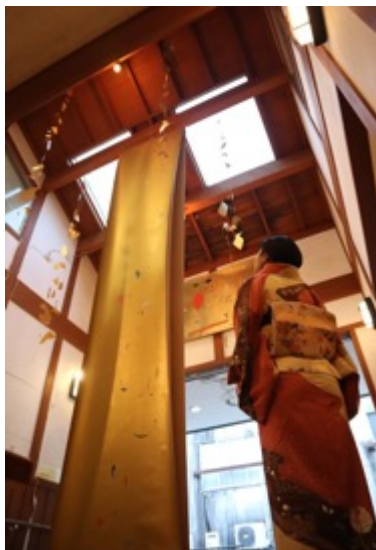
- 渋川アトリラについて
- 渋川アトリラ2024 in 伊香保 企画概要
- アーティストインレジデンス企画について
- 今後のスケジュール

イベント全体概要

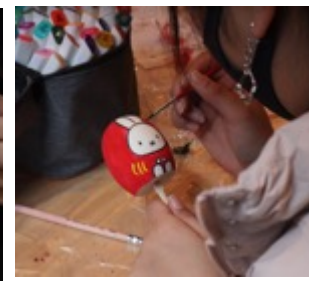
- タイトル : SHIBUKAWA ART RELA 2024 IN IKAHO 渋川アートルラ2024 in 伊香保
- 目的 : アートイベントを通して、イベントを作り上げる人たちが関わり合い、作り上げる過程を経て、より強いつながりを作っていく、そのパワーにより盛り上がっている伊香保を外に向けてアピールする。来街者も楽しく、その輪に入っていきたいくなるようなイベントを生み出すことで、伊香保のファンを増やす。
- 開催期間 : 2024年9月29日(日)～10月27日(日) (予定)
- 会期準備 : 9/23(月祝)～9月28日(土) / 撤収 : 10月28日(月)～29日(火) (30日(水)は予備)
- 内容 :
- (1) イベント開催期間の展示内容
 - ・アーティストレジデンス作品展示
 - ・過去作品のアーカイブ展示
 - ・市民アーティストによる企画展示
 - ・参加者と共に作り上げる企画展示
 - ・参加型アート体験コンテンツ
 - (2) 展示以外のプロジェクト
 - ・リラていぶ (市民ボランティア)
 - ・地域課題解決のためのソーシャリーエンゲージドアートプロジェクト
 - ・地元商店とのコラボ企画
 - ・非日常感を演出する装飾等
- 主催 : 渋川アートルラ実行委員会

イベント内容

渋川伊香保地域の各所にアートを通じた観賞や体験イベントを点在させ、街の回遊を促します



アーティストレジデンス作品展示
：コンセプトを体現した伊香保のアート展示



アート体験：参加者が気軽にできる体験型のワークショップ



市民アート展示：市民から公募した渋川の風景作品の展示等を行う



その他の企画プロジェクト：商店とのコラボ企画、参加者と共に作り上げる企画プロジェクト

ARTLESS

～アートと伊香保の新たな関係性～

ARTLESS

～アートと伊香保の新たな関係性～

ARTLESS「アートレス」は
芸術性がない、という意味もあれば、その純真な、素朴な、正直な、自然のままの、という意味があります。

また、美術用語としてはアートに対する盲目的な信仰を意味する「アートフル」と対で用いられることが多いですが、かといって反芸術志向を強調を意味するのではなく、あくまでもアートと社会とのバランスを強調することに主眼が置かれた言葉として用いられます。

「アート作品を創ること」は必要な手段であって、その過程の交流を、素直に素朴に、人を大事にする形で出来るとい
いのではないかと考えました。

アートがいない、ということではなく、アートの純粋なアート性ではなくて、アートと社会の関係性を考える
SEA（ソーシャリー・エンゲージド・アート）としてのプロジェクトを目指していく、というコンセプトです。

- 渋川アトリラについて
- 渋川アトリラ2024 in 伊香保 企画概要
- アーティストインレジデンス企画について
- 今後のスケジュール

伊香保各地の施設でのアーティストイン・レジデンスにて、 メインアートを製作・展示していただける作家を公募します。

- 事業名 : 渋川アートリラ2024 in 伊香保 アーティスト・イン・レジデンス事業
- 内容 : 「渋川アートリラ2024 in 伊香保」内で展示するアート作品を制作していただくアーティストを募集いたします。アーティストには伊香保の地に滞在しながら、コンセプトである「ARTLESS」をテーマに、平面作品・立体作品・インスタレーションなど、伊香保の街並みや社会的・歴史的背景を反映し、伊香保の将来に寄与する作品を自由に製作していただきます。
また滞在期間中は伊香保の観光地や地元市民と積極的に交流を図り、地域の文化芸術を通しコミュニティの発展に貢献していただきます。
- 応募内容 : 募集人数 5～10名程度を想定
募集締切 2024年6月15日17時必着 ※審査は応募受付順に実施。募集人数に到達次第、募集は締切
- スケジュール : 下見ツアー 2024年5月17日10時～14時予定 ※参加は任意。別途申し込みが必要。
参加者決定 一次審査：2024年6月末、最終審査：7月中旬ごろ決定
滞在 2024年8月26日～2024年9月28日（準備日程含む）
準備日程 2024年9月23日～2024年9月28日
会期日程 2024年9月29日～2024年10月27日
- 応募方法 : 応募方法等の詳細は「アーティスト・イン・レジデンス応募概要」を参照

アーティスト・イン・レジデンス 滞在施設のご提供

伊香保温泉各旅館がアーティストの滞在場所を支援いたします。
榛名山の麓に佇む温泉街である伊香保。風光明媚な土地で、
そのインスピレーションを感じていただきながら、制作活動をしていただきます。

制作活動で疲れた体は滞在先の温泉旅館等でゆっくりと癒していただけます。



▲旅館の温泉をご利用いただけます



▲宿泊は客室または旅館寮
※写真は旅館寮



▲滞在旅館からの眺望(一例です)

制作作業場所のご提供

制作場所は旅館内および地下駐車場もしくは屋外での作業となります。
基本的には滞在旅館で作業場所を用意する予定ですが、臭い・音の問題から、滞在場所とは異なる場所での作業になる可能性もあります。



▲滞在旅館での作業イメージ

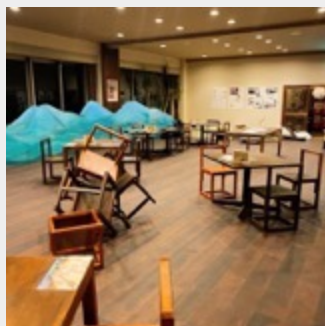


▲屋外での作業イメージ

展示候補場所（例）

渋川伊香保地域の旅館や商店内のスペースでの展示に加え、伊香保の裏路地や使われなくなった空き家などを展示場所とする予定です。

展示場所の詳細は追って決定いたします。



▲商店内スペース・旅館での展示例



▲空き家の例



▲屋外展示場所の例

リサーチ時の情報提供（例）

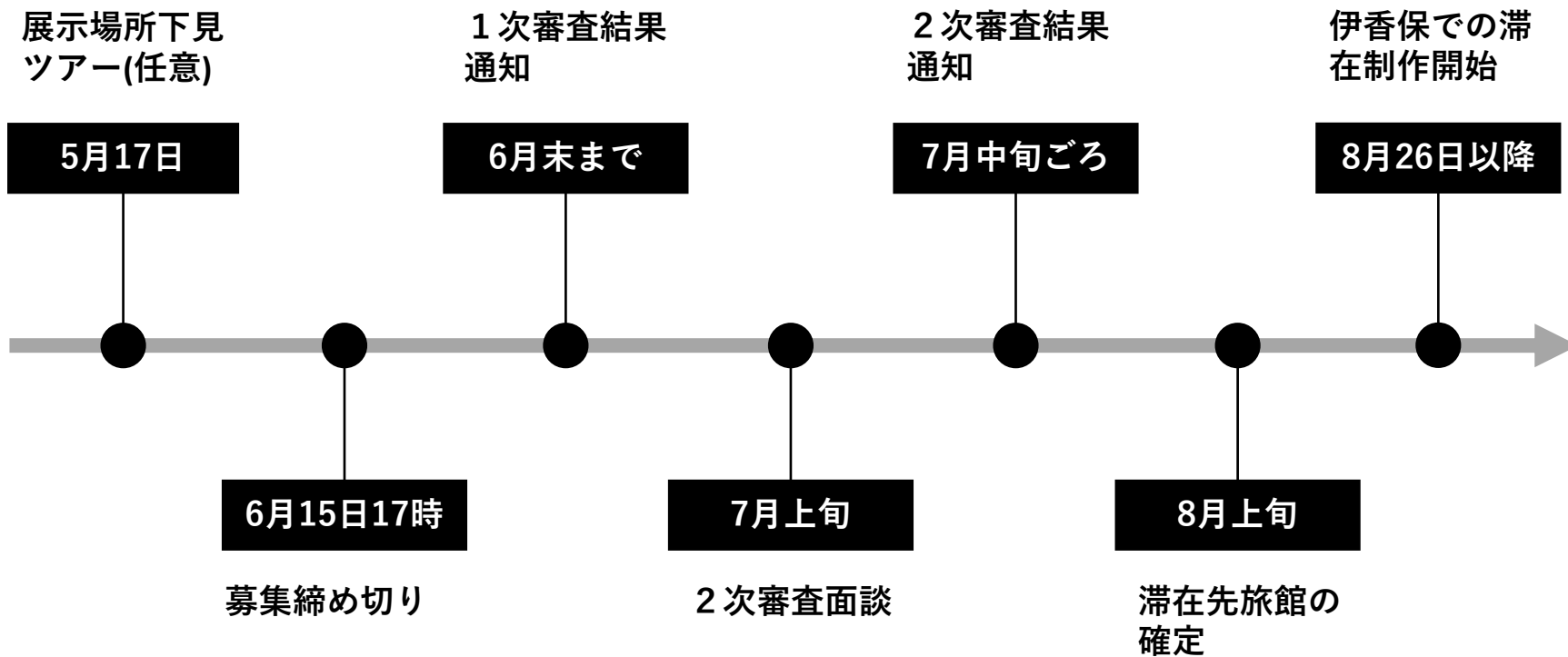
<伊香保の大家制度と十二支の歴史>

江戸時代の伊香保には石段街の左右に「大屋」と呼ばれる12軒の温泉宿がありました。1764年（享保3年）徳川九代家重の時代に12軒の大屋に十二支を名付け、1871年（明治4年）まで「子」の年には子の大屋が正名主、対極の午の大屋が副名主となって年番制で名主を務め、口留番所（伊香保関所）に役人として勤務もしていました。（十二支年番名主制度）現在の石段街には、その大屋の屋敷跡にそれぞれの十二支プレートが埋め込まれています。

上記のようなストーリーなど、こちらで集められる情報など、必要に応じてご提供させていただきます。



- 渋川アトリラについて
- 渋川アトリラ2024 in 伊香保 企画概要
- アーティストインレジデンス企画について
- 今後のスケジュール



アーティストが住まう街 伊香保 アートによりさらなる彩りを

かつての竹久夢二のように、伊香保は文人に愛され、文化を育んできた街。

アーティストが旅館に住まい、製作活動を通して、地元の方々と交流することで、新たな文化を創造し、そのアートが伊香保にさらなる彩りを与えてくれる。

アートはどんなしがらみもなく、自由に表現されます。その自由な表現から与えられるインスピレーションは人それぞれ。その作品の解釈に正解はなく、個々人が感じたままそれを受け入れることができます。

アート表現を受け入れることは、多種多様な考え方を認め合うことにも繋がります。そうした繋がりがアーティストと交流することで、街全体に広がり、そこに新たなコミュニティが生まれることを願います。